



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 伊予銀行  
 コード番号 8385 URL <http://www.ivobank.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 大塚 岩男  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 平野 志郎  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 089-941-1141

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	96,780	9.5	38,214	52.1	23,362	64.0
25年3月期第3四半期	88,397	△1.9	25,131	△15.8	14,249	△7.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 34,567百万円 (47.9%) 25年3月期第3四半期 23,372百万円 (22.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	73.92	73.84
25年3月期第3四半期	44.83	44.80

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,138,237	505,863	7.9
25年3月期	6,004,711	476,324	7.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 487,799百万円 25年3月期 457,780百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	4.50	—	5.50	10.00
26年3月期	—	5.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	123,000	3.8	41,500	27.4	23,000	25.2	72.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.2「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	323,775,366 株	25年3月期	323,775,366 株
26年3月期3Q	7,757,144 株	25年3月期	7,751,738 株
26年3月期3Q	316,022,736 株	25年3月期3Q	317,815,560 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## [添付資料の目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	.....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	.....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	.....	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	.....	P. 2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	.....	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	.....	P. 2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	.....	P. 2
3. 四半期連結財務諸表	.....	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	.....	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	.....	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	.....	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	.....	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	.....	P. 7
4. 平成26年3月期 第3四半期決算 説明資料	.....	P. 8
(1) 平成26年3月期 第3四半期損益の概況【単体】	.....	P. 8
(2) 預金等・貸出金の残高【単体】	.....	P. 9
(3) 預り資産の残高	.....	P. 9
(4) 有価証券の評価損益【単体】	.....	P. 10
(5) 金融再生法ベースの開示不良債権【単体】	.....	P. 11
(6) 自己資本比率（国際統一基準）	.....	P. 12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のわが国経済は、各種政策効果や消費税率引き上げを前にした駆け込み需要を背景に、緩やかな回復の動きがみられました。輸出面には若干の不安が残るものの、堅調な内需を背景に企業収益は持ち直しており、雇用情勢も改善が続いています。

また、愛媛県経済も回復に向かう動きがみられました。弱い動きが続いていた個人消費や生産活動に持ち直しの動きがみられ、県内の雇用情勢も改善傾向にあります。引き続き、原燃料価格の上昇や海外経済の下振れ、消費税率引き上げに伴う消費マインドの悪化など懸念材料が残るものの、緩やかな持ち直しが続くことが期待されます。

このような情勢のもと、当第3四半期連結累計期間における業績は、次のとおりとなりました。

経常収益は、有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことや、有価証券の売却によりその他業務収益及びその他経常収益が増加したことから、前年同期比 83 億 83 百万円増加して 967 億 80 百万円となりました。一方、経常費用は、有価証券の償却及び信用コストが減少したことから、前年同期比 46 億 99 百万円減少して 585 億 66 百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比 130 億 83 百万円増加して 382 億 14 百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比 91 億 13 百万円増加して 233 億 62 百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

譲渡性預金を含めた預金等は、前連結会計年度末比 706 億円増加して 5 兆 1,873 億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比 823 億円増加して 3 兆 7,183 億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比 632 億円減少して 1 兆 7,642 億円となりました。

純資産は、前連結会計年度末比 295 億円増加して 5,058 億円となりました。

総資産は、前連結会計年度末比 1,335 億円増加して 6 兆 1,382 億円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における四半期純利益は、平成25年11月8日に公表いたしました通期の業績予想を上回っておりますが、今後、復興特別法人税廃止に伴う繰延税金資産の取崩しを見込んでいること等から、通期の業績予想は据え置いております。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当ありません。

なお、いよエバーグリーン6次産業化応援ファンド投資事業有限責任組合を設立しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の処理)

連結子会社の税金費用は、当第3四半期累計期間を含む年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	327,077	327,196
コールローン及び買入手形	36,631	149,533
買入金銭債権	10,452	9,494
商品有価証券	524	542
金銭の信託	8,013	8,052
有価証券	1,827,529	1,764,274
貸出金	3,636,072	3,718,388
外国為替	9,022	11,128
リース債権及びリース投資資産	23,201	24,544
その他資産	42,470	42,425
有形固定資産	80,195	79,937
無形固定資産	4,152	4,081
繰延税金資産	1,069	930
支払承諾見返	30,410	28,810
貸倒引当金	△32,111	△31,102
資産の部合計	6,004,711	6,138,237
<b>負債の部</b>		
預金	4,627,578	4,771,456
譲渡性預金	489,057	415,875
コールマネー及び売渡手形	102,023	85,878
債券貸借取引受入担保金	30,511	75,954
借入金	133,067	130,977
外国為替	126	99
その他負債	50,347	52,873
賞与引当金	1,573	—
退職給付引当金	13,675	13,956
役員退職慰労引当金	2	2
睡眠預金払戻損失引当金	2,750	2,133
偶発損失引当金	420	460
特別法上の引当金	0	0
繰延税金負債	33,473	40,683
再評価に係る繰延税金負債	13,367	13,209
支払承諾	30,410	28,810
負債の部合計	5,528,386	5,632,374

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
資本金	20,948	20,948
資本剰余金	10,483	10,483
利益剰余金	296,985	317,317
自己株式	△5,478	△5,488
株主資本合計	322,939	343,261
その他有価証券評価差額金	113,572	123,562
繰延ヘッジ損益	△4	△8
土地再評価差額金	21,272	20,983
その他の包括利益累計額合計	134,840	144,537
新株予約権	173	256
少数株主持分	18,371	17,807
純資産の部合計	476,324	505,863
負債及び純資産の部合計	6,004,711	6,138,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
経常収益	88,397	96,780
資金運用収益	64,881	66,611
(うち貸出金利息)	43,923	41,716
(うち有価証券利息配当金)	19,440	24,132
役務取引等収益	8,583	8,699
その他業務収益	12,705	17,349
その他経常収益	2,227	4,120
経常費用	63,265	58,566
資金調達費用	5,826	4,793
(うち預金利息)	3,853	3,492
役務取引等費用	2,601	2,750
その他業務費用	9,342	9,545
営業経費	37,185	37,622
その他経常費用	8,308	3,854
経常利益	25,131	38,214
特別利益	106	477
固定資産処分益	0	—
負ののれん発生益	—	477
償却債権戻入益	106	—
特別損失	941	621
固定資産処分損	188	31
減損損失	753	589
金融商品取引責任準備金繰入額	—	0
税金等調整前四半期純利益	24,296	38,069
法人税、住民税及び事業税	8,519	12,013
法人税等調整額	286	1,634
法人税等合計	8,805	13,647
少数株主損益調整前四半期純利益	15,490	24,422
少数株主利益	1,241	1,059
四半期純利益	14,249	23,362

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,490	24,422
その他の包括利益	7,881	10,145
その他有価証券評価差額金	7,892	10,149
繰延ヘッジ損益	△11	△4
四半期包括利益	23,372	34,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	22,045	33,347
少数株主に係る四半期包括利益	1,327	1,219



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当ありません。

## 4. 平成26年3月期 第3四半期決算 説明資料

## (1) 平成26年3月期 第3四半期損益の概況【単体】

コア業務純益（4～12月の9ヵ月間）は、有価証券利息配当金の増加により資金利益が増加したことなどから、前年同期比21億円増加の299億円となりました。また、信用コストが減少したこと及び有価証券関係損益が増加したことから、経常利益は前年同期比132億円増加の361億円、四半期純利益は前年同期比85億円増加の226億円となりました。

平成26年3月期業績予想（年間）に対し四半期純利益（9ヵ月間）の進捗率は100.8%となっておりますが、今後、復興特別法人税廃止に伴う繰延税金資産の取崩しを見込んでいること等から、通期の業績予想は据え置いております。

## ○主要計数・前年同期比

(単位:百万円、%)

	平成25年3月期		平成26年3月期		平成26年3月期 業績予想 (年間)	進捗率
	第3四半期 (9ヵ月間) (A)	第3四半期 (9ヵ月間) (B)	前年同期比 (B)-(A)	増減率		
<b>コア業務粗利益</b>	<b>63,739</b>	<b>66,088</b>	<b>2,349</b>	<b>3.7</b>		
資金利益	58,984	61,803	2,819			
役務取引等利益	3,758	3,469	△ 289			
うち預り資産収益	1,602	1,420	△ 182			
その他業務利益	996	815	△ 181			
<b>経費(△)</b>	<b>36,007</b>	<b>36,185</b>	<b>178</b>	<b>0.5</b>		
<b>コア業務純益</b>	<b>27,732</b>	<b>29,902</b>	<b>2,170</b>	<b>7.8</b>	<b>37,000</b>	<b>80.8</b>
<b>信用コスト(△)①+②-③</b>	<b>4,678</b>	<b>2,272</b>	<b>△ 2,406</b>			
一般貸倒引当金繰入額(△)①	△ 1,983	△ 832	1,151			
不良債権処理額(△)②	7,964	4,215	△ 3,749			
償却債権取立益③	1,303	1,110	△ 193			
<b>有価証券関係損益</b>	<b>△ 306</b>	<b>7,921</b>	<b>8,227</b>			
国債等債券関係損益	1,237	5,717	4,480			
株式等関係損益	△ 1,543	2,204	3,747			
その他臨時損益	134	567	433			
<b>経常利益</b>	<b>22,882</b>	<b>36,119</b>	<b>13,237</b>	<b>57.8</b>	<b>39,500</b>	<b>91.4</b>
<b>特別損益</b>	<b>△ 836</b>	<b>△ 622</b>	<b>214</b>			
税引前 四半期純利益	22,046	35,496	13,450			
法人税等+同調整額(△)	7,936	12,805	4,869			
<b>四半期(当期)純利益</b>	<b>14,109</b>	<b>22,691</b>	<b>8,582</b>	<b>60.8</b>	<b>22,500</b>	<b>100.8</b>

## (2) 預金等・貸出金の残高【単体】

預金等残高は平成24年12月末比1,431億円(増加率2.8%)、貸出金残高は平成24年12月末比1,156億円(増加率3.1%)増加しております。

(単位：億円)				(参考) (単位：億円)
	25年12月末	24年12月末比	24年12月末	25年3月末
預金等(末残) (注1)	52,024	1,431	50,593	51,318
うち個人預金	32,998	796	32,202	32,066
貸出金(末残)	37,343	1,156	36,187	36,490
うち中小企業等貸出金(注2)	27,849	722	27,127	27,387
個人向け貸出金	9,146	118	9,028	9,083
うち住宅ローン	6,722	154	6,568	6,595

(単位：億円)				(参考) (単位：億円)
	25年12月末	24年12月末比	24年12月末	25年3月末
信用保証協会保証付貸出金	1,327	△ 79	1,406	1,377

- (注) 1. 預金等は、預金及び譲渡性預金の合計であります。  
2. 中小企業等貸出金とは、中小企業及び個人向け貸出金であります。

## (3) 預り資産の残高

伊予銀行グループの預り資産残高は、平成24年12月末比75億円増加の4,353億円となりました。

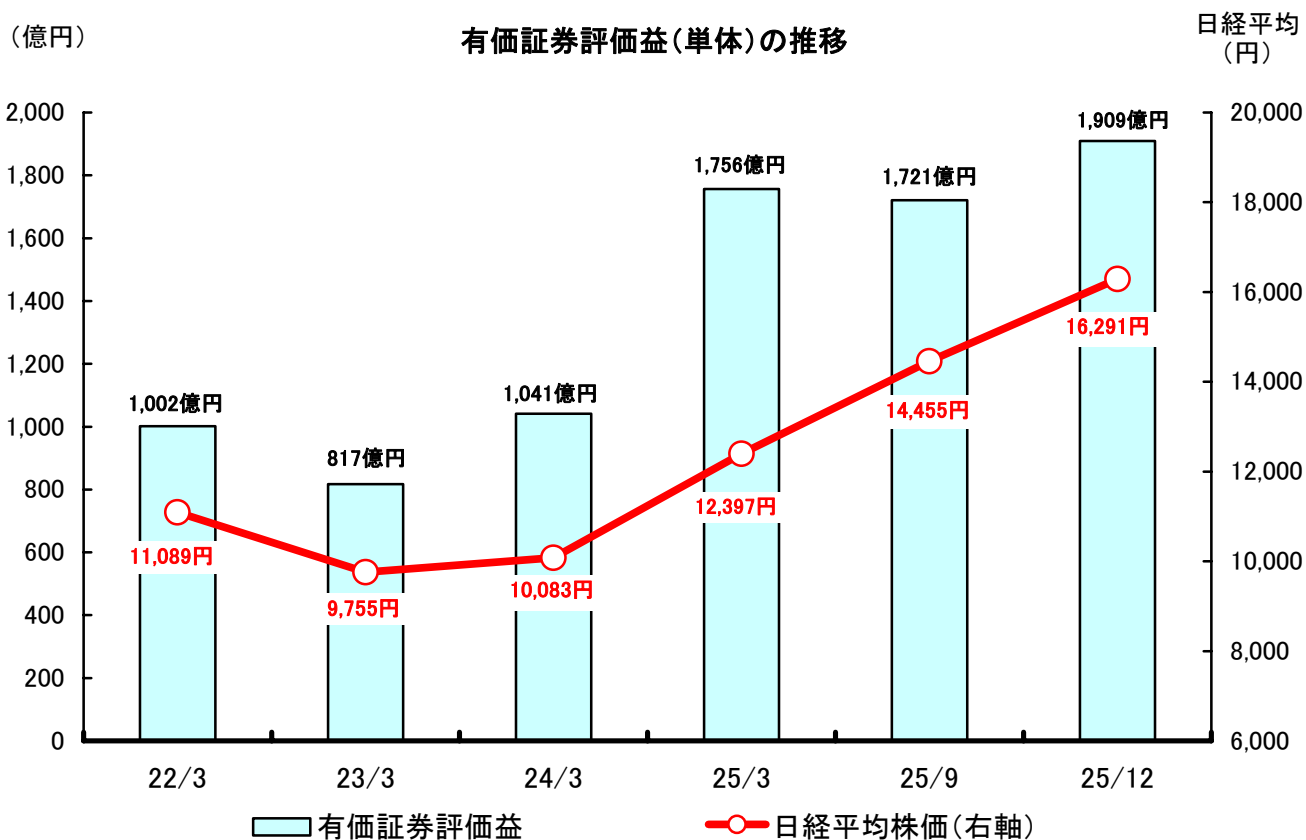
(単位：億円)				(参考) (単位：億円)
	25年12月末	24年12月末比	24年12月末	25年3月末
伊予銀行預り資産残高	3,837	△ 351	4,188	4,221
投資信託	1,110	△ 90	1,200	1,265
保険	1,635	121	1,514	1,532
国債	900	△ 359	1,259	1,207
金融商品仲介	190	△ 24	214	216
いよぎん証券預り資産残高	516	427	89	201
伊予銀行グループ合計	4,353	75	4,278	4,423

## (4) 有価証券の評価損益【単体】

平成25年12月末の有価証券の評価損益は、1,909億円と地銀トップクラスの水準を確保しております。

	(単位：億円)					(参考) (単位：億円)							
	25年12月末					25年9月末				25年3月末			
	時価	評価損益		25年9月末比	評価損	時価	評価損益		時価	評価損益		時価	評価損益
評価益		評価損	評価益				評価損	評価益		評価損	評価益		評価損
その他有価証券	17,530	1,909	188	1,942	33	16,940	1,721	1,756	34	18,183	1,756	1,805	48
株式	2,282	1,299	161	1,310	10	2,103	1,138	1,152	13	1,961	989	1,008	19
債券	11,113	428	△29	430	1	11,129	457	459	1	12,161	592	593	1
その他	4,134	180	55	201	20	3,708	125	144	18	4,061	174	202	27

- (注) 1. 「その他有価証券」については、時価評価しておりますので、評価損益は貸借対照表価額と取得価額との差額を計上しております。  
2. 満期保有目的の債券はありません。

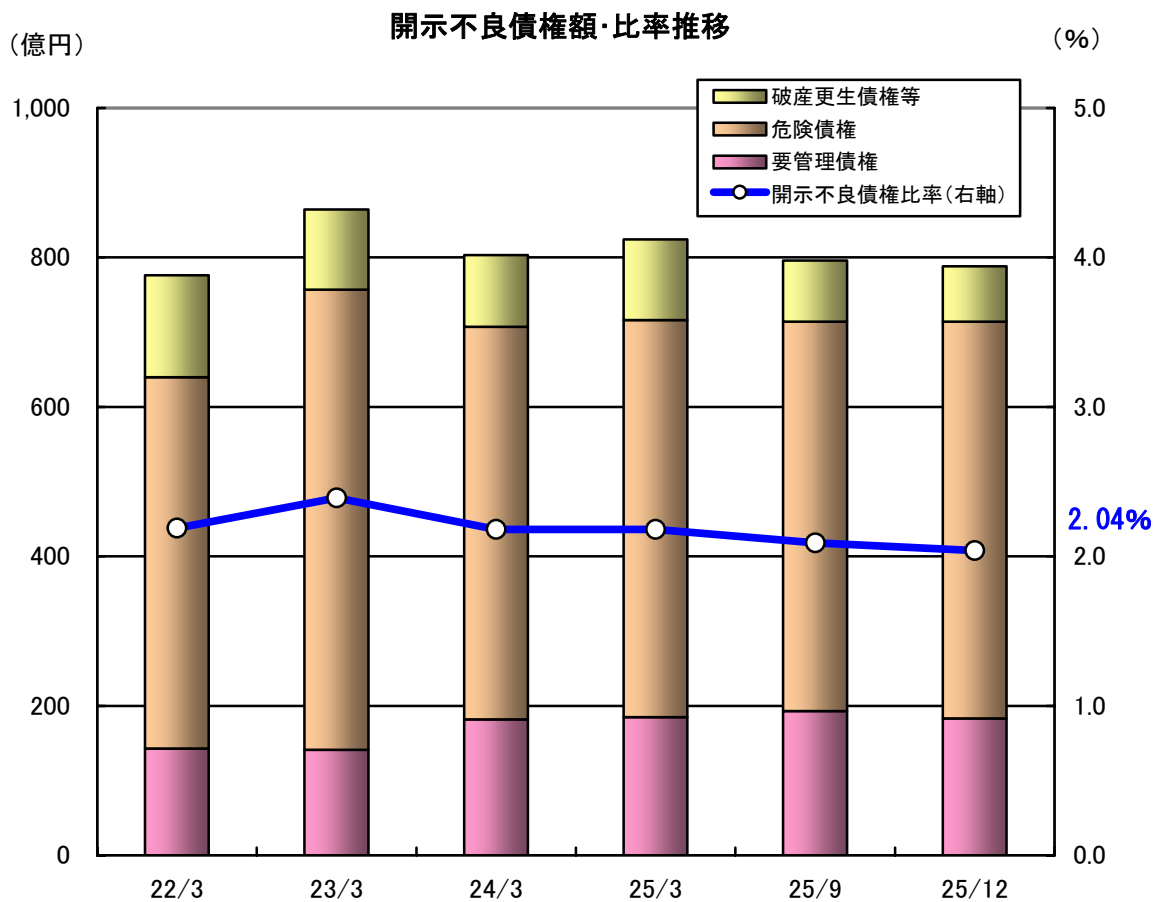


(注) 金銭の信託に係る評価損益を除く

## (5) 金融再生法ベースの開示不良債権【単体】

金融再生法ベースの開示不良債権は 789 億円、開示不良債権比率は 2.04%と引き続き低水準を維持しております。

	(単位：億円)			(参考) (単位：億円)
	25年12月末	25年9月末比	25年9月末	25年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	74	△ 8	82	108
危険債権	531	10	521	531
要管理債権	183	△ 10	193	185
合 計	789	△ 8	797	825
開示不良債権比率	2.04%	△ 0.05p	2.09%	2.18%



## (6) 自己資本比率 (国際統一基準)

平成25年12月末の連結総自己資本比率は14.21%、連結普通株式等Tier1比率は10.39%となりました。

## 【連結】

(単位：億円)

	25年12月末		25年9月末
	[速報値]	25年9月末比	
(1) 連結総自己資本比率 ((4) / (7))	14.21%	0.22%	13.99%
(2) 連結Tier1比率 ((5) / (7))	10.39%	0.04%	10.35%
(3) 連結普通株式等Tier1比率 ((6) / (7))	10.39%	0.04%	10.35%
(4) 連結における総自己資本の額	4,829	152	4,677
(5) 連結におけるTier1資本の額	3,533	72	3,461
(6) 連結における普通株式等Tier1資本の額	3,533	72	3,461
(7) リスク・アセットの額	33,978	561	33,417
(8) 連結総所要自己資本額 ((7) × 8%)	2,718	45	2,673

## 【単体】

(単位：億円)

	25年12月末		25年9月末
	[速報値]	25年9月末比	
(1) 単体総自己資本比率 ((4) / (7))	13.59%	0.22%	13.37%
(2) 単体Tier1比率 ((5) / (7))	9.83%	0.04%	9.79%
(3) 単体普通株式等Tier1比率 ((6) / (7))	9.83%	0.04%	9.79%
(4) 単体における総自己資本の額	4,573	150	4,423
(5) 単体におけるTier1資本の額	3,309	68	3,241
(6) 単体における普通株式等Tier1資本の額	3,309	68	3,241
(7) リスク・アセットの額	33,653	579	33,074
(8) 単体総所要自己資本額 ((7) × 8%)	2,692	47	2,645

(注) 1. 信用リスク・アセット算出においては基礎的内部格付手法、オペレーショナル・リスク相当額については粗利益配分手法を採用しております。

2. 「リスク・アセット×8%+期待損失額」にて算出される「総所要自己資本額」は、以下のとおりです。なお、適格引当金を考慮しておりません。

(単位：億円)

	25年12月末		25年9月末
		25年9月末比	
総所要自己資本額 (連結)	3,481	31	3,450
総所要自己資本額 (単体)	3,439	33	3,406